TDP-245

感熱バーコードプリンタ

取扱説明書

目次

版権について

この説明書の内容は、予告なしに変更されることがあり、またはTSC Auto ID Technology Co., Ltd.の義務を表すものではありません。 TSC Auto ID Technology Co., Ltd.が書面で許諾した場合を除き、この説明書のいかなる部分も、いかなる形態、手段により、購入者が個人的に使用する目的のために、複写または転送することは許されていません。
トゥルータイプフォントエンジンは、デビッド・ターナー、ロバート・ウィルヘルム、ワーナー・レンバーグによる「フリータイププロジェクト」により開発されたものであり、本説明書で参照しているその他のすべての製品は、その属する各社の商標または登録商標です。

遵守規制

CE クラス B：

EN55022： 1998+A1： 2000+A2： 2003

EN55024： 1998+A1： 2001+A2： 2003 IEC 61000-4 シリーズ

EN61000-3-2： 2006 & EN61000-3-3： 1995+A1： 20011

FCC パート 15、クラス B

UL、CUL

C-Tick:

CFR 47, パート 15/CISPR 22 第 3 版 1997, Class B

ANSI C63.4： 2003

カナダ ICES-003

TÜV-GS： EN60950： 2000

安全のための重要な注意事項

1. この注意事項をよくお読みください。
2. この説明書は大切に保管してください。
3. お手入れの前にはデバイスを電源から抜いてください。液体またはスプレーの洗浄剤は使用しないでください。湿らせた布でお手入れを行うのが一番です。
4. 電源はデバイスの近くにし、簡単に手が届く場所にしてください。
5. デバイスは湿気から保護してください。

6. 据付けの際にはデバイスが安定して置かれていることを確認してください。傾いていたり、倒れたりすると、破損の原因となります。
7. デバイスを電源に接続する際には、接続値が適切であることを確認してください。
8. このデバイスは、最高 40℃の環境温度での操作をサポートします。

1. 概要

TSC TDP-245 感熱バーコードプリンタをお買い上げいただきありがとうございます。 コンパクトなデスクトッププリンタですが、信頼性が高く、優れた性能をもっています。

このプリンタは、熱転写印字と感熱印字を提供し、 毎秒 2.0 インチ、3.0 インチ、4.0 インチ、5.0 インチの速度をユーザが選ぶことができます。 熱転写方式の印字でも感熱方式の印字でも、ロールフィード、ダイカット、ファンフォールドラベル、タグなどに対応します。 すべての一般的なバーコード形式を利用することができます。 フォントとバーコードは、4 方向に、8 つの異なる英数字のビットマップフォントと内蔵のトゥルータイプフォントで印字することができます。 このプリンタでは、ラベル印字の高スループットを満喫できます。

2. 使い始める

2.1 箱の中身を確認する

このプリンタは、配送中に損傷を受けないよう、特別な梱包が行なわれています。 バーコードプリンタを受け取った際には、梱包とプリンタを注意深く確認してください。 プリンタを返送いただく場合に備え、梱包材は大切に保管してください。

2.2 設備のチェックリスト

- プリンタユニット×1
- Windows ラベルソフト/ドライバ CD ディスク×1
- サンプルラベルロール×1
- ラベル軸（直径 1 インチのコア）×1
- ラベル軸固定タブ×2
- 1.5 インチコアアダプタ×2
- セントロニクスインターフェースケーブル×1
- 自動スイッチ電源×1
- 電源コード×1
- クイックスタートガイド×1

入っていない部品があった場合、お買い上げいただいた販売店または代理店の顧客サービス部門までご連絡ください。

オプション

- ■ ピールオフモジュール
- ■ 外付けラベルロールマウント
- ■ ラベル軸（直径 3 インチのコア）
- ■ プログラム可能なキーボード（KU-007 シリーズ）
- ■ スタンドアローン液晶キーボード （KP-200）
- ■ 自動カッターモジュール
- ■ 外部イーサネットプリントサーバ
- ■ 外部 802.11b/g ワイヤレスプリントサーバ

2.3 プリンタの部品名

2.3.1 正面図



図 1 上部正面図

2.3.2 背面図

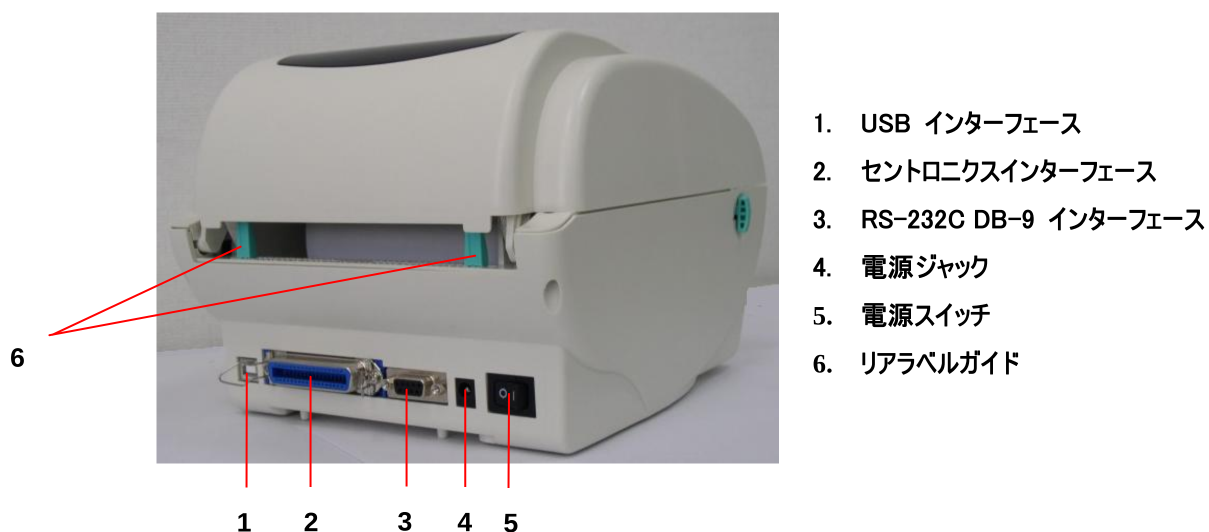


図 2 背面図

3 設定

3.1 プリンタを設定する

1. プリンタを平坦で安定した場所に置く。
2. 電源スイッチがオフになっていることを確認する。
3. プリンタを、セントロニクスまたは USB ケーブルで、コンピュータに接続する。
4. プリンタ背面の電源ジャックに DC 電源コードを差し込んでから、適切な接地が行なわれたコンセントに、AC 電源コードを差し込む。

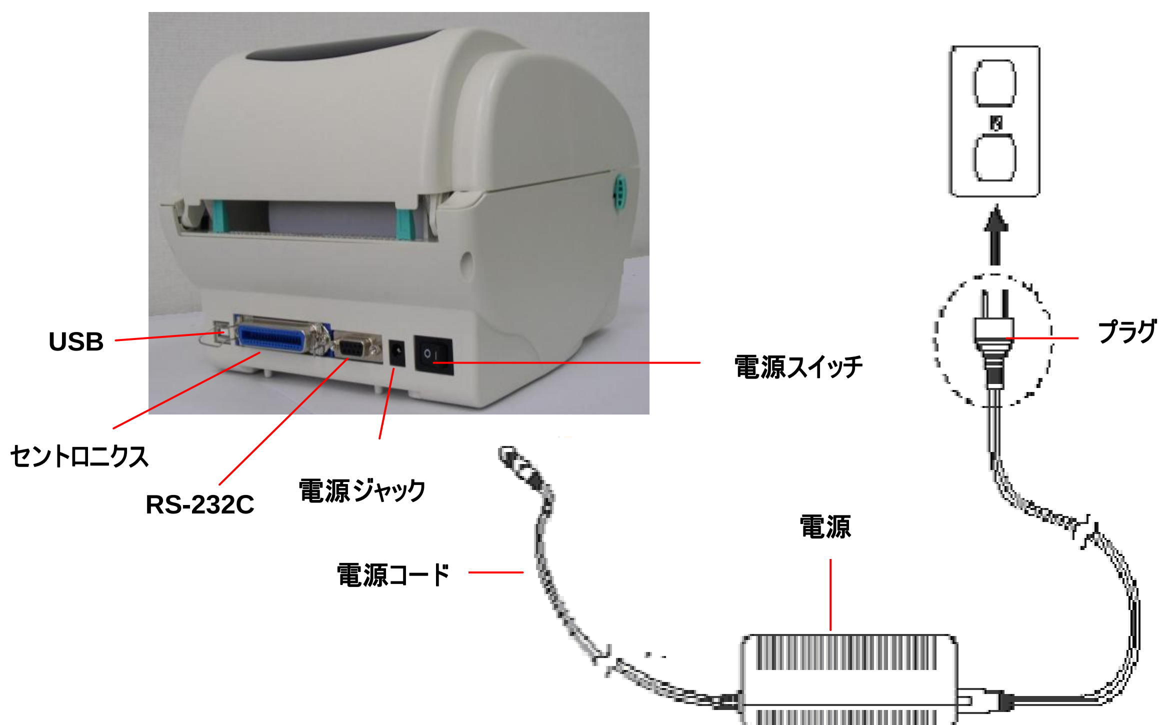


図 5 電源をプリンタにつなぐ

3.2 ラベルストックを取り付ける

1. 1 インチのラベル軸をペーパーロールに挿入する（ペーパーコアが 1 インチの場合、1.5 インチのコアアダプタを固定タブから取り外す）。

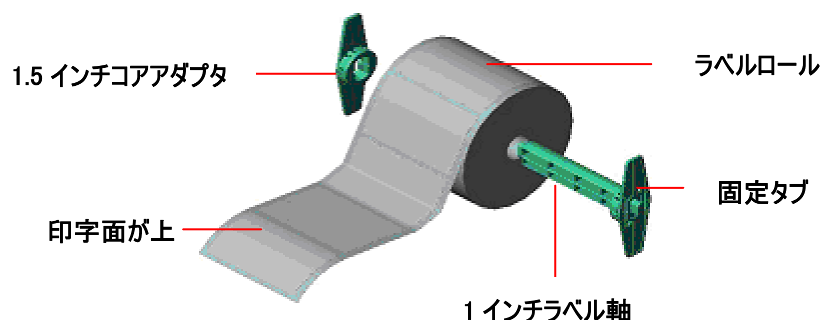


図 6 ラベルロールの取り付け（I）

2. プリンタの両側にある緑の**トップカバーロレバー**を解除し、トップカバーを持ち上げて、プリンタのトップカバーを開く。
3. ペーパーのロールを内部ペーパーロールマウントに置く。
4. 紙を、印字面が上になるように、**ラベルガイド**に通してフィードし、ラベルをプラテンの上に置く。
5. 調整ノブを回して、黒い中央よりのラベルガイドを内側または外側に調整し、ラベル台紙の端にやや触れるようにする。

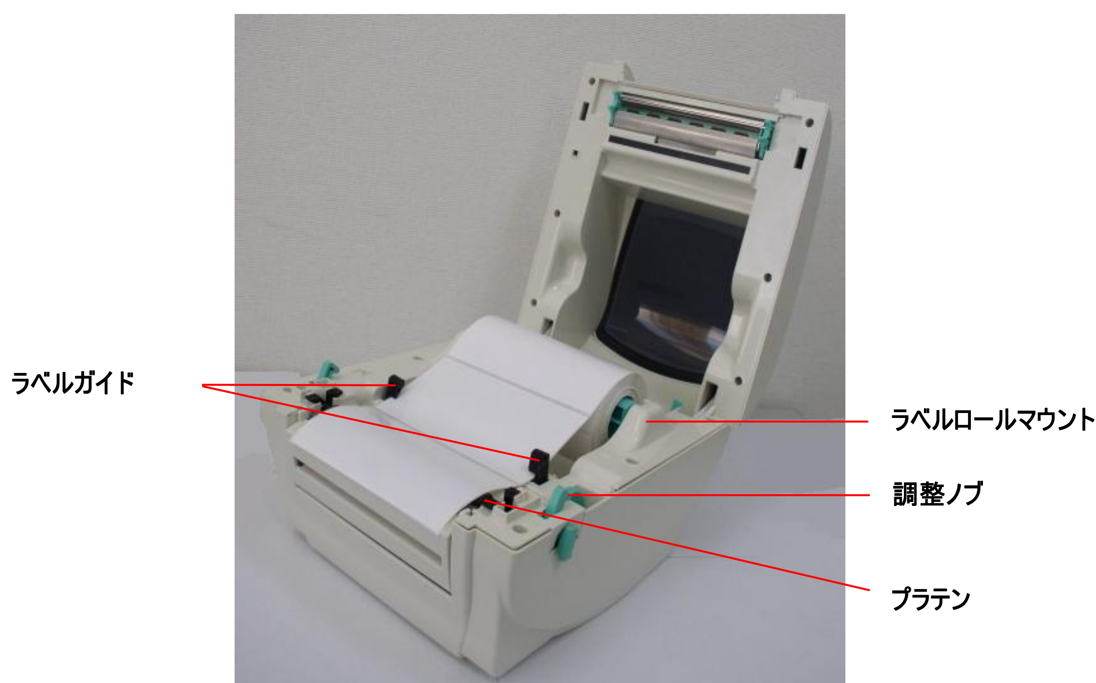


図 7 ラベルロールの取り付け（II）

6. プリンタのトップカバーをゆっくりと閉じ、カバーがレバーを確実にロックしたことを確認する。

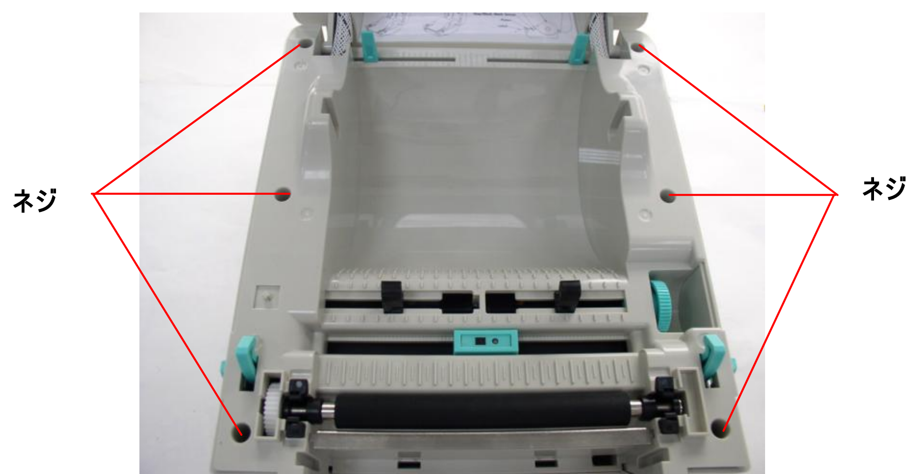
注： カバーをしっかりと閉じ、ロックしないと、印字品質が悪くなります。



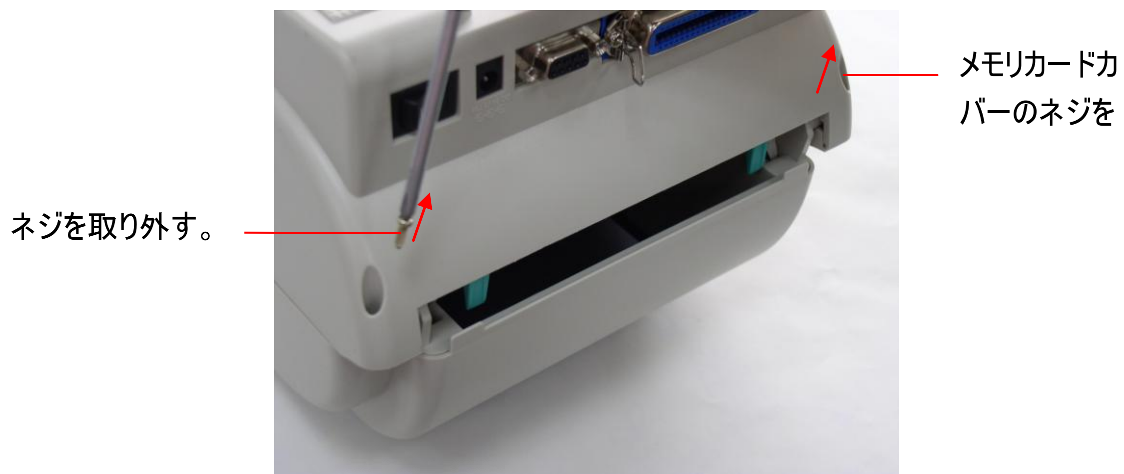
図 8 トップカバーを完全に閉じる

3.3 ピールオフの組立（オプション）

1. トップカバーを開ける。
2. 下内部カバーの 6 つのネジを緩める。



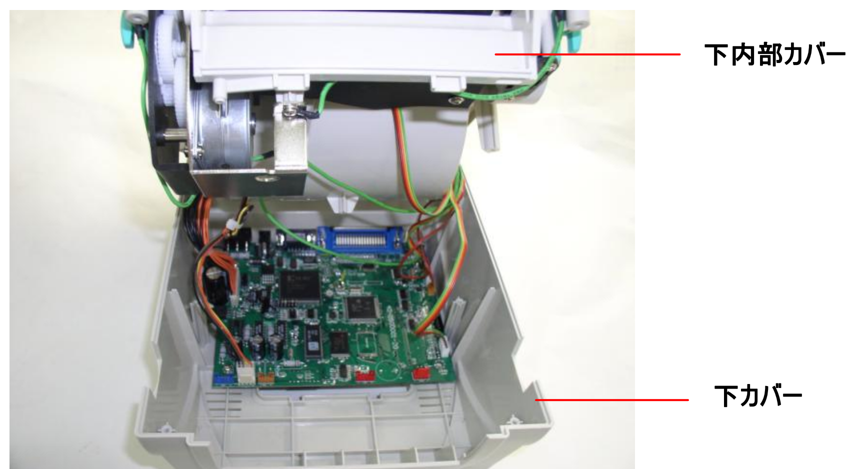
3. プリンタを裏返す。
4. 下内部カバーの 2 つのネジを緩める。



5.　メモリカードカバーのネジを取り外す。

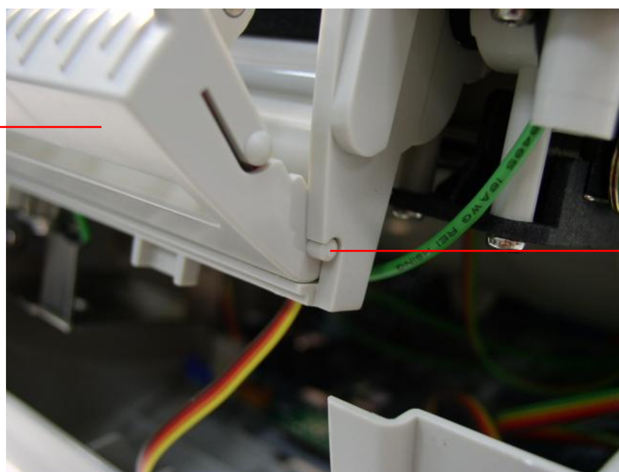


6.　下カバーを持ち、トップカバーロレバーを持ち上げ、下内部カバーを下カバーから外す。



7.　下内部カバーの前面にあるケーブル穴にハーネス赤コネクタを通す。 メインボードの JP17 の位置に、赤いピールオフモジュールハーネスコネクタを差し込む。 下内部カバーを下カバーに置く。ピールオフモジュールを下内部カバースロットに取り付ける。

ピールオフモジュール
の組立



片側を取り付けてから、
反対側を取り付ける

8. ピールオフパネルを軽く押し、下内部カバーに固定する。
9. モジュールの取り付けが終わったら、逆の順序で組み立て直す。



3.4 ピールオフモード用にラベルを取り付ける（オプション）

1. ピールオフモジュールを引いて、開く。

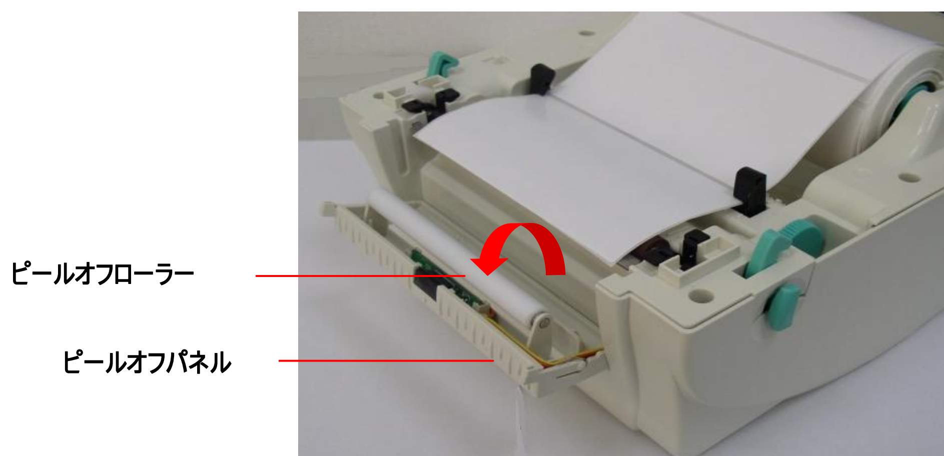


図 9 ピールオフパネルを開く

2. ラベルを、印字面が上になるように、ラベルガイドに通して、プラテンの上に置く。
3. ラベルをローラーの下の台紙口に通す。
4. 調整ノブを回して、黒い中央よりの**ラベルガイド**を調整し、ラベル台紙の端に合うようにする。

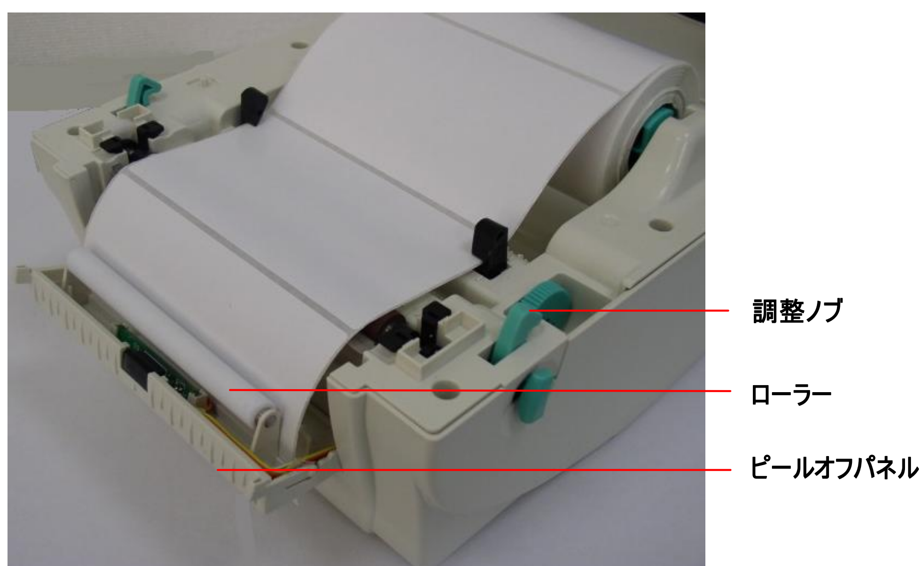


図 10 ピールオフモード用にラベルを取り付ける

5. プリンタの裏のピールオフパネルを押す。

6. トップカバーを閉じる。



図 11 ピールオフモード用でラベルが完全に取り付けられた

3.5 外付けラベルロールマウントの取り付け（オプション）

1. プリンタの裏側に外付けラベルロールマウントを取り付ける。
2. ラベルのロールを外付けラベルロールマウントに取り付ける。

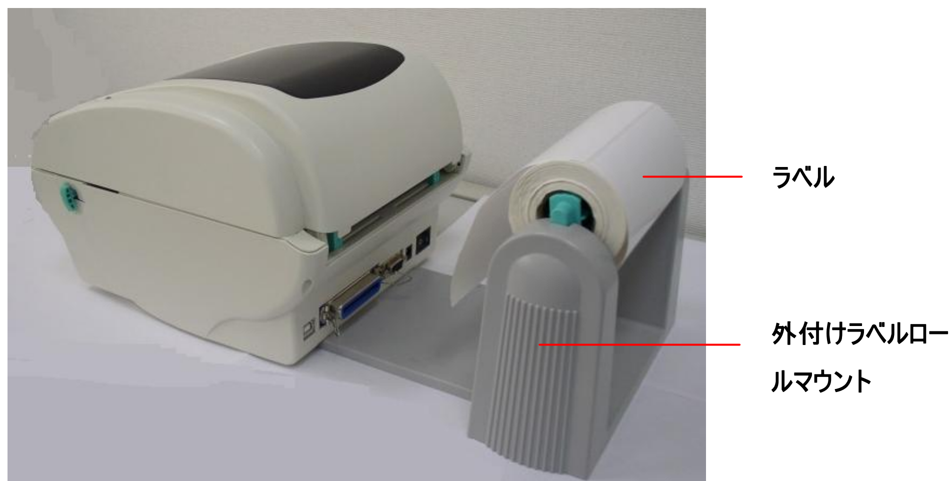


図 12 外付けラベルロールマウントの取り付け (I)

3. ラベルをリアラベルガイドに通し、外付けラベルフィードロにフィードする。

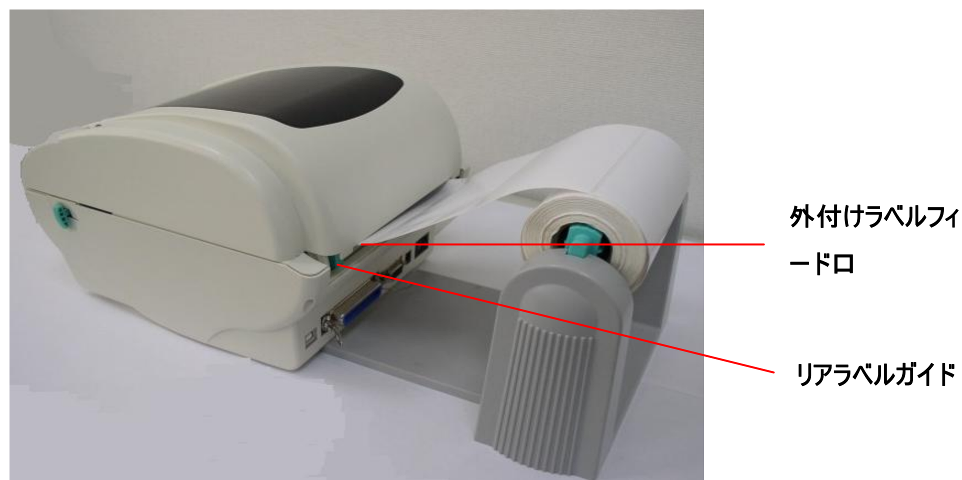


図 13 外付けラベルロールマウントの取り付け (II)

4. トップカバーロレバーを引き、プリンタのトップカバーを開く。
5. ラベルを、印字面が上になるように、ラベルガイドに通して、プラテンの上に置く。
6. 調整ノブを回してラベルガイドを調整し、ラベル台紙の端に合うようにする。
7. プリンタのトップカバーを閉じる。

3.6 カッターモジュールの取り付け（オプション）

1. トップカバーロレバーを引き、トップカバーを開く。
2. フロントパネルを下カバーから取り外す。
3. **下内部カバー**の 6 つのネジを取り外す。

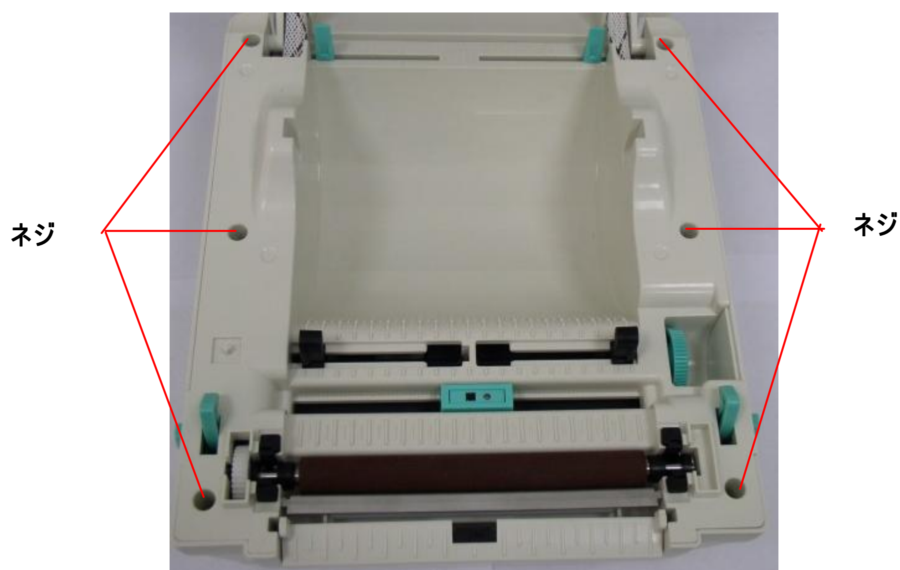
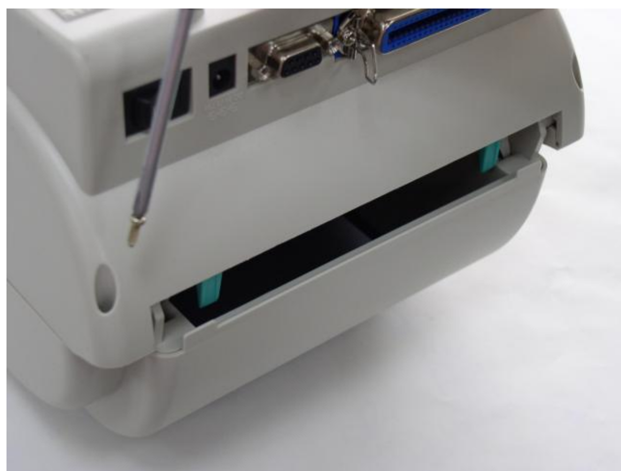


図 14 下内部カバーから 6 つのネジを取り外す

4. プリンタを裏返す。
5. ヒンジの 2 つのネジを取り外す。



6. 裏側のメモリカードカバーのネジを取り外す。

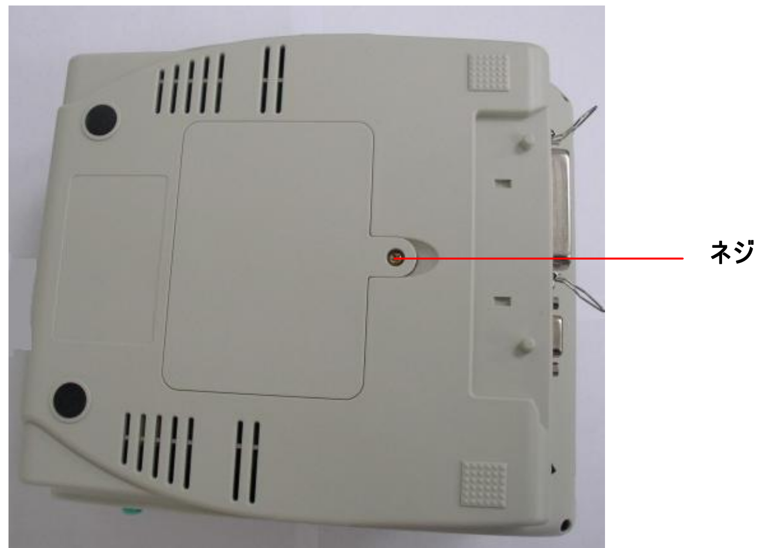


Fig. 図 15 裏側から 1 つのネジを取り外す

7. 下カバーをもち、下内部カバーを持ち上げる。
8. カッターモジュールハーネスを穴に通して整理する。
9. カッターモジュールハーネスをプリンタのプリント配線基板の 4 ピンソケットに接続する。



図 16 カッターモジュールハーネスの配置

10. 下内部カバーを下カバーの裏に組み立て直す。
11. カッターモジュールをプリンタの窪みに取り付ける。

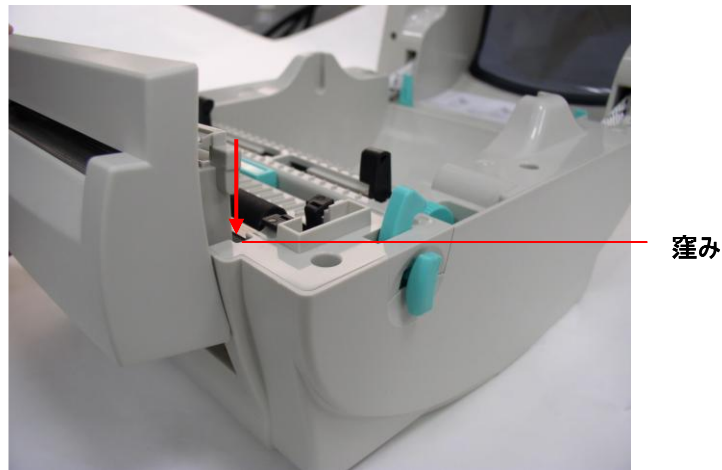


図 17 カッターモジュールの取り付け

12. 部品を逆の順序で組み立て直す。
13. トップカバーを閉じる。

3.7 カッターモードでラベルを取り付ける

1. プリンタのトップカバーを開ける。
2. ラベル軸をラベルローラーに挿入する。
3. ラベルロールをラベルロールマウントに置く。
4. 紙を、印字面が上になるように、ラベルガイド、プラテン、カッターモジュール紙出口に通す。

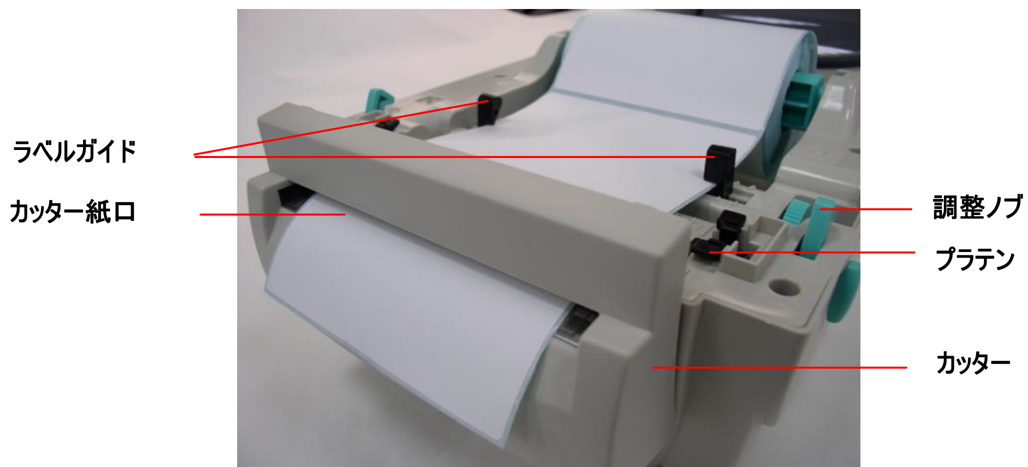


図 18 カッターモードでのラベルの取り付け

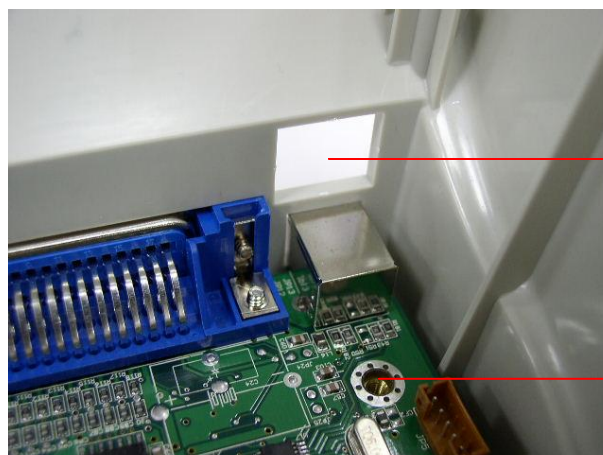
5. 黒い中央よりのラベルガイドを調整し、ラベル台紙の端に合うようにする。
6. トップカバーを閉じる。



図 19 カッターモードでのラベルの取り付けの完了

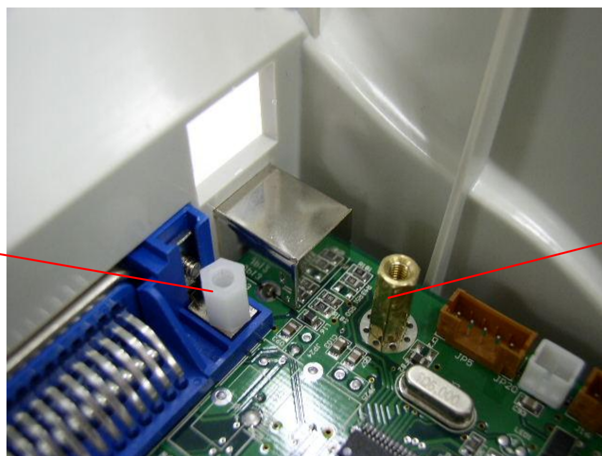
3.8 内部イーサネットプリントサーバモジュールの取り付け（オプション）

1. 下カバーの RJ45 インターフェース口の裏側に部分的につながったプラスチックを破る。



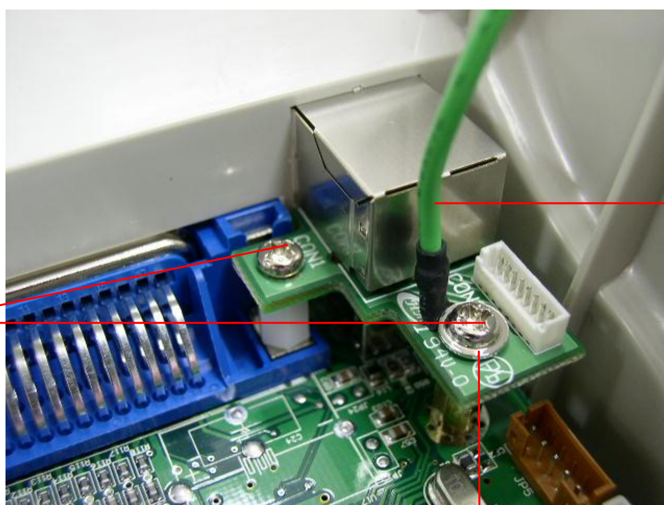
2. メインボードのネジを取り外す。 銅柱とプラスチック柱を固定する。

プラスチック柱



銅柱

3. RJ45 コネクタドーターボードをプラスチック柱と銅柱に固定する。 機構からの接地線は、銅柱でドーターボードに取り付ける。



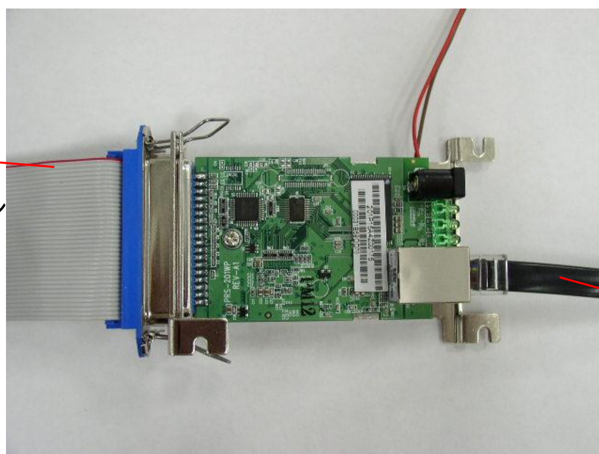
接地線

ネジ

RJ45 コネクタドーターボード

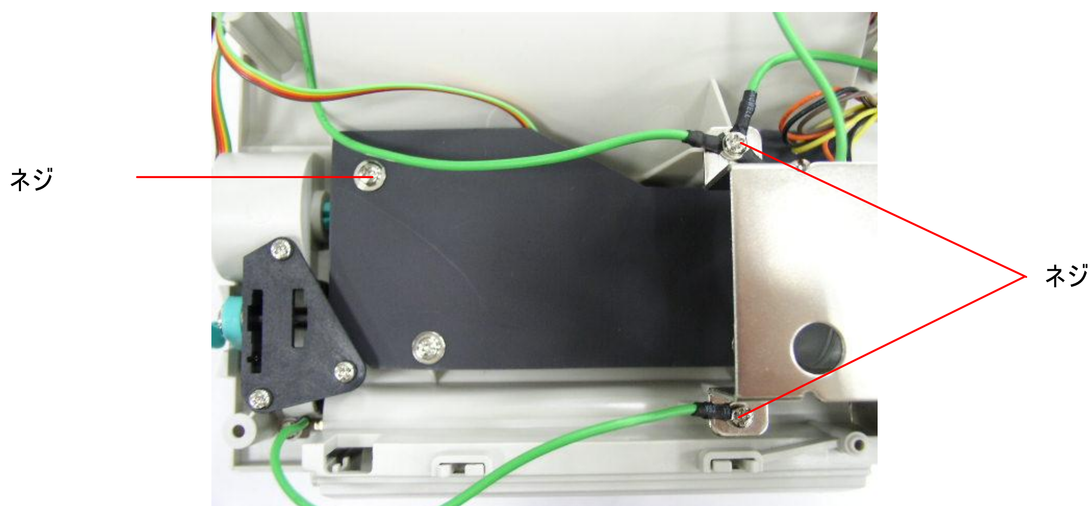
4. プリントサーバモジュールインターフェースケーブル（36 ピン）と RJ45 インターフェースケーブルをプリントサーバモジュールに接続する。

プリントサーバモジュールインターフェースケーブル

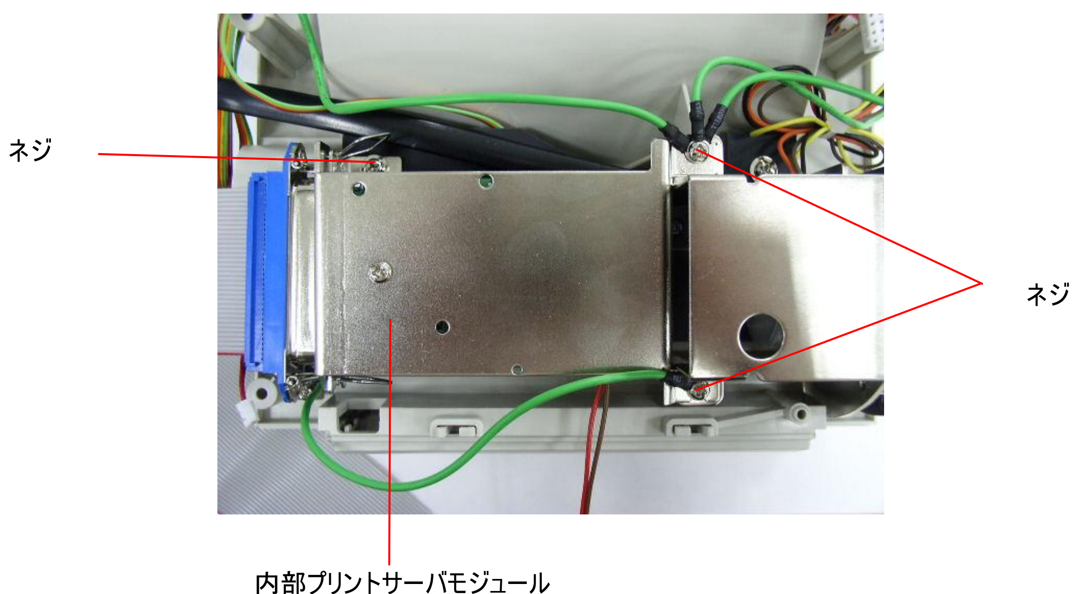


RJ45 インターフェースケーブル

5. モーターブラケットから 2 つのネジを、下内部カバーから 1 つのネジを取り外し、内部プリントサーバを取り付ける。



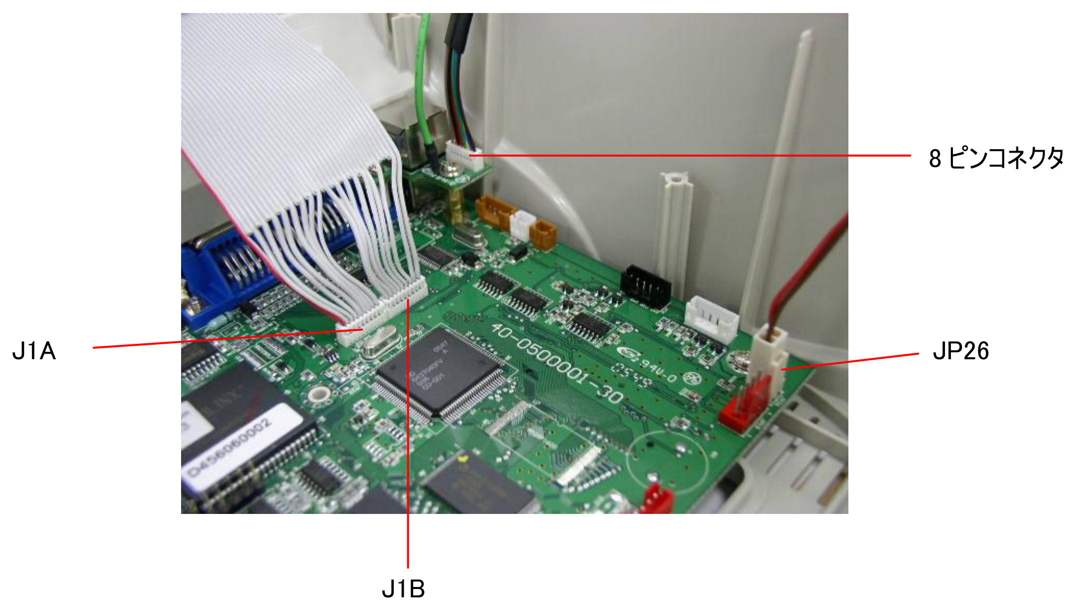
6. プリントサーバモジュールを、3 つのネジで下内部カバーに取り付ける。



7. RJ45 白コネクタを RJ45 ドーターボードコネクタに差し込む。

8. プリントサーバモジュールインターフェースケーブルをプリント配線基板の J1A と J1B に差し込み、左側のハーネス（左側の赤い線）が J1A 用、右側のハーネスが J1B 用である。

9.　2 ピンコネクタをプリント配線基板の 5V DC 電源用 JP26 コネクタに差し込む。



4. 電源投入ユーティリティ

プリンタのハードウェアの設定とテストを行う電源投入ユーティリティは 6 つあります。 これらのユーティリティは、FEED ボタンを押しながらプリンタの電源を入れると、有効になります。

ユーティリティは次のとおりです。
1. ギャップ／ブラックマークセンサーの補正
2. ギャップ／ブラックマークセンサーの補正、自己診断、ダンプモード
3. プリンタの初期化
4. ブラックマークセンサーの補正
5. ギャップセンサーの補正
6. AUTO.BAS 省略

4.1 ギャップ／ブラックマークセンサーの補正

ギャップ／ブラックマークセンサーの感度は、次の場合に補正する必要があります。
1. 新しいプリンタ
2. ラベルストックの交換
3. プリンタの初期化

次の手順でギャップ／ブラックセンサーを補正してください。
1. プリンタの電源スイッチを切る。
2. ボタンを押して、プリンタの電源スイッチを入れる。
3. LED が赤く点滅したら、ボタンから手を放す。（**赤**く 5 回点滅する間に行う）

- ギャップ／ブラックマークセンサーの感度が補正されます。
- LED の色は、次の順番で変わります。
  黄色 → **赤 (5 回点滅)** → 黄色 (5 回点滅) → 緑 (5 回点滅) → 緑/黄色 (5 回点滅) → 赤/黄色 (5 回点滅) → 緑に点灯
- センサが補正され、ラベルの長さが測定されます。

注：
センサを補正する前に、GAP または BLINE コマンドでギャップセンサーまたはブラックマークセンサを選んでください。
GAP 及び BLINE コマンドの詳細については、TSPL2 プログラミング・マニュアルを参照してください。

4.2 ギャップ／ブラックマークの補正、自己診断、ダンプモード

ギャップ／ブラックマークセンサーを補正中に、プリンタがラベルの長さを測定し、内部設定（自己診断）を印刷し、ダンプモードに入ります。

次の手順に従ってください。

1. プリンタの電源スイッチを切る。
2. ボタンを押して、プリンタの電源スイッチを入れる。
3. LED が**黄色**く点滅したら、ボタンから手を放す。（黄色く 5 回点滅する間に行う）

- LED の色は、次の順番で変わります。
  黄色 → 赤 (5 回点滅) → **黄色 (5 回点滅)** → 緑 (5 回点滅) → 緑/黄色 (5 回点滅) → 赤/黄色 (5 回点滅) → 緑に点灯
- センサが補正され、ラベルの長さが測定され、内部設定を印刷し、ダンプモードに入ります。

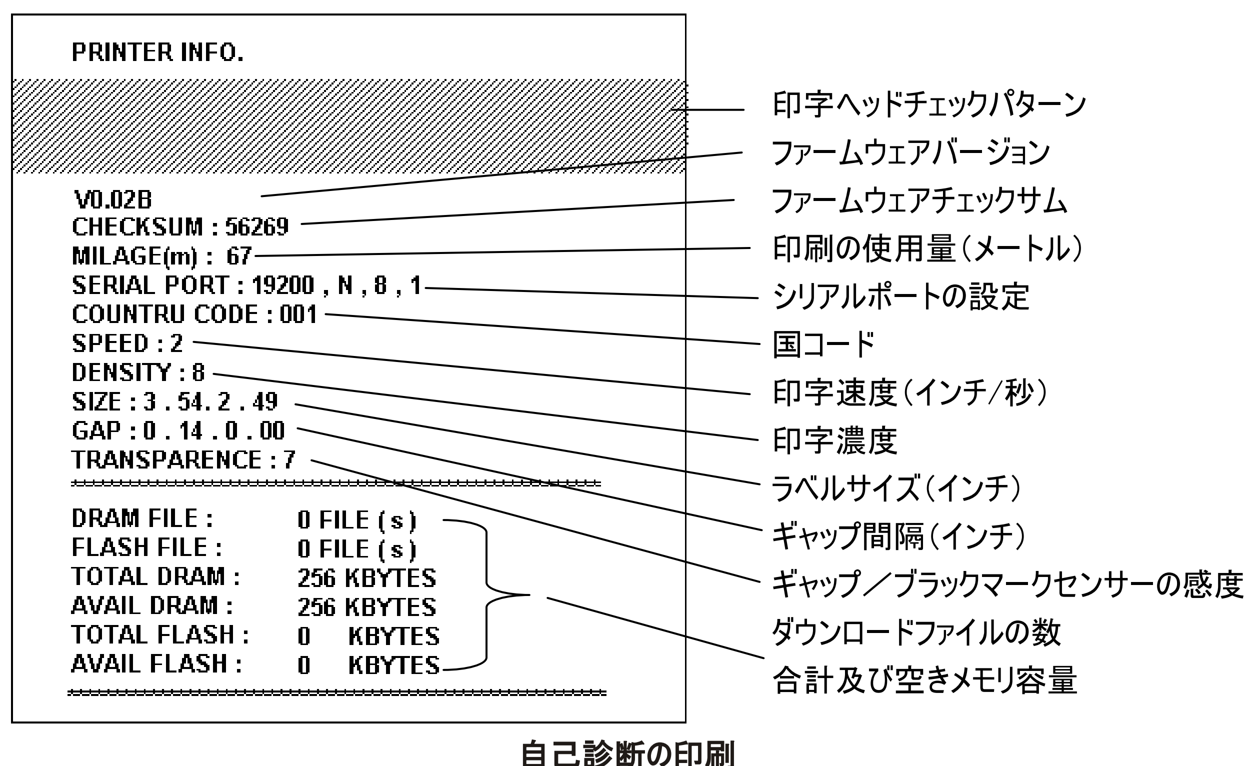
注：

センサを補正する前に、GAP または BLINE コマンドでギャップセンサーまたはブラックマークセンサを選んでください。

GAP 及び BLINE コマンドの詳細については、TSPL2 プログラミング・マニュアルを参照してください。

自己診断

プリンタは、ギャップ／ブラックマークセンサーを補正した後に、プリンタの設定を印刷します。 自己診断の印刷は、加熱部にドットの損傷がないか、プリンタの設定、空きメモリ容量を確認するのに用いることができます。



自己診断の印刷

注：

1. **RoHS 準拠版の物理的なフラッシュメモリは 2MB、DRAM は 2MB です。**
2. **フラッシュメモリでシステムが 960 KB を占めるため、ユーザのダウンロード用のフラッシュメモリの全容量は、1088 K バイトです。**
3. **DRAM でシステムが 1792 KB を占めるため、ユーザのダウンロード用の DRAM の全容量は、256 K バイトです。**

ダンプモード

プリンタの設定を印刷した後、プリンタはダンプモードに入ります。 ダンプモードでは、すべての文字が、次のように 2 行に印刷されます。 左側の文字はシステムから受信したもので、右側のデータは文字に対応する 16 進数の値です。 これにより、ユーザはプログラムを評価し、デバグを行うことができます。

ASCII データ

```
SPEED 2.0      53 50 45 45 44 20 32 2E 30 0D
 DENSITY 8     0A 44 45 4E 53 49 54 59 20 38
  SET PEEL     0D 0A 53 45 54 20 50 45 45 4C
 OFF  DIRE     20 4F 46 46 0D 0A 44 49 52 45
CTION 0  G     43 54 49 4F 4E 20 30 0D 0A 47
AP 3.00 mm     41 50 20 33 2E 30 30 20 6D 6D
.0.00 mm       2C 30 2E 30 30 20 6D 6D 0D 0A
REFERENCE      52 45 46 45 52 45 4E 43 45 20
0.0  SET C     30 2C 30 0D 0A 53 45 54 20 43
UTTER OFF      55 54 54 45 52 20 4F 46 46 0D
 SIZE 100.     0A 53 49 5A 45 20 31 30 30 2E
02 mm.65.0     30 32 20 6D 6D 2C 36 35 2E 30
4 mm  CLS      34 20 6D 6D 0D 0A 43 4C 53 0D
 BARCODE 1     0A 42 41 52 43 4F 44 45 20 31
44.149."39     34 34 2C 31 34 39 2C 22 33 39
".120.1.0.     22 2C 31 32 30 2C 31 2C 30 2C
2.6."57114     32 2C 36 2C 22 35 37 31 31 34
38T"  PRIN     33 38 54 22 0D 0A 50 52 49 4E
T 1.1  SPE     54 20 31 2C 31 0D 0A 53 50 45
ED 2.0  DE     45 44 20 32 2E 30 0D 0A 44 45
NSITY 8  S     4E 53 49 54 59 20 38 0D 0A 53

ET PEEL OF     45 54 20 50 45 45 4C 20 4F 46
F  DIRECTI     46 0D 0A 44 49 52 45 43 54 49
ON 0  GAP      4F 4E 20 30 0D 0A 47 41 50 20
3.00 mm.0.     33 2E 30 30 20 6D 6D 2C 30 2E
00 mm  REF     30 30 20 6D 6D 0D 0A 52 45 46
ERENCE 0.0     45 52 45 4E 43 45 20 30 2C 30
  SET CUTT     0D 0A 53 45 54 20 43 55 54 54
ER OFF  SI     45 52 20 4F 46 46 0D 0A 53 49
ZE 100.02      5A 45 20 31 30 30 2E 30 32 20
mm.65.04 m     6D 6D 2C 36 35 2E 30 34 20 6D
m  CLS  BA     6D 0D 0A 43 4C 53 0D 0A 42 41
RCODE 144.     52 43 4F 44 45 20 31 34 34 2C
149."39".1     31 34 39 2C 22 33 39 22 2C 31
20.1.0.2.6     32 30 2C 31 2C 30 2C 32 2C 36
."5711438T     2C 22 35 37 31 31 34 33 38 54
"  PRINT 1     22 0D 0A 50 52 49 4E 54 20 31
.1             2C 31 0D 0A
```

ASCII データの左列に関する 16 進法データ

ダンプモードの印刷

注：

電源スイッチを切ってから入れ直し、プリンタを正常な印字にリセットしてください。

4.3 プリンタの初期化

プリンタの初期化は、DRAM をクリアし、プリンタの設定が初期設定値に戻すのに用いられます。 リボンの感度の場合だけ、初期設定値に戻されません。

Printer initialization is activated by the following procedures.

1. プリンタの電源スイッチを切る。
2. ボタンを押して、プリンタの電源スイッチを入れる。
3. LED が黄色く 5 回点滅した後、**緑**に変わったら、ボタンから手を放す。（緑に 5 回点滅する間に行う）。
   - LED の色は、次の順番で変わります。
     黄色 → 赤 (5 回点滅) → 黄色 (5 回点滅) → **緑 (5 回点滅)** → 緑/黄色 (5 回点滅) → 赤/黄色 (5 回点滅) → 緑に点灯

プリンタを初期化すると、次の初期設定値に戻ります。

パラメータ	初期設定値
速度	TDP-245、127 mm/秒 (5 ips)
濃度	7
ラベル幅	4.25″ (108.0 mm)
ラベル高さ	2.5″ (63.4 mm)
メディアセンサータイプ	ギャップセンサー
ギャップ設定	0.12″ (3.0 mm)
印字方向	0
基準点	0,0（左上の隅）
オフセット	0
切り取りモード	オン
ピールオフモード	オフ
カッターモード	オフ
シリアルポートの設定	9600 bps、パリティなし、 8 データビット、1 ストップビット
コードページ	850
国コード	001
フラッシュメモリのクリア	なし

注:

プリンタの初期化後には、必ずギャップ／ブラックマークセンサーの補正を行ってください。

4.4 ブラックマークセンサーの補正

ブラックマークセンサーをメディアセンサーに設定し、ブラックマークセンサーを補正します。

次の手順に従ってください。

1. プリンタの電源スイッチを切る。
2. ボタンを押して、プリンタの電源スイッチを入れる。
3. LED が緑に 5 回点滅した後、**緑/黄色**に変わったら、ボタンから手を放す。（緑/黄色に 5 回点滅する間に行う）。
   - LED の色は、次の順番で変わります。
     黄色 → 赤（5 回点滅）→ 黄色（5 回点滅）→ 緑（5 回点滅）→ **緑/黄色（5 回点滅）**→ 赤/黄色（5 回点滅）→ 緑に点灯

4.5 ギャップセンサーの補正

ギャップセンサーをメディアセンサーに設定し、ギャップセンサーを補正します。

次の手順に従ってください。

1. プリンタの電源スイッチを切る。
2. ボタンを押して、プリンタの電源スイッチを入れる。
3. LED が緑/黄色に 5 回点滅した後、**赤/黄色**に変わったら、ボタンから手を放す。（赤/黄色に 5 回点滅する間に行う）。
   - LED の色は、次の順番で変わります。
     黄色 → 赤（5 回点滅）→ 黄色（5 回点滅）→ 緑（5 回点滅）→ 緑/黄色（5 回点滅）→ **赤/黄色（5 回点滅）**→ 緑に点灯

4.6 AUTO.BAS 省略

TSPL2 プログラミング言語によって、ユーザは自動実行ファイルをフラッシュメモリにダウンロードすることができます。 プリンタの電源を入れると、プリンタがすぐに AUTO.BAS プログラムを実行します。 電源投入ユーティリティにより、AUTO.BAS プログラムを実行しないよう、阻止することができます。

次の手順に従ってください。

1. プリンタの電源を切る。
2. FEED ボタンを押してから、電源を入れる。
3. LED が**緑に点灯**したときに FEED ボタンから手を放す。
   - LED の色は、次の順番で変わります。
     黄色 → 赤（5 回点滅）→ 黄色（5 回点滅）→ 緑（5 回点滅）→ 緑/黄色（5 回点滅）→ 赤/黄色（5 回点滅）→ **緑に点灯**
4. プリンタで AUTO.BAS プログラムの実行が阻止される。

5. メンテナンス

5.1 清掃

必要に応じて、次の道具を使用してください。

- 清掃用ペン。
- 清掃用棒。
- 糸くずの出ない布。

掃除の手順は、次のとおりです。

プリンタの部品名	方法
プリンタヘッド	■ 印字ヘッドは1分間冷却させる。 ■ 清掃用ペンを使用して印字部を拭く。
プラテンローラー	■ プラテンローラーを回し、70%エタノールと清掃用棒または糸くずの出ない布で全面を拭く。
外部	■ 水で濡らした布で拭く。
内部	■ ブラシまたは空気吹きつけ。

6. トラブルシューティング

この章では、LED のステータスや、プリンタの操作中に発生する可能性のあるその他のトラブルについて説明します。 それに対する解決方法についても説明します。

6.1 LED のステータス

LED のステータス／色	プリンタの状態	解決番号
オフ	オフ	1
緑に点灯	オン	2
緑に点滅	一時停止	3
赤く点滅	停止	4

1. ***電源がない。***

- プリンタの電源スイッチを入れる。
- 電源の緑の LED が点灯しているかどうか確認する。 点灯していない場合、電源が故障している。
- 電源コードから電源までの電源接続と電源からプリンタの電源ジャックまでの電源接続の両方を確認する。

2. ***プリンタがオンで使用できる状態にある。***

- 何のアクションも必要ない。

3. ***プリンタが一時停止している。***

- フィードボタンを押して、印字を再開する。

4. ***プリンタのラベル切れ、またはプリンタの設定が正しくない。***

ラベル切れ

- ラベルのロールを取り付け、「紙を取り付ける」の指示に従う。
  フィードボタンを押して、印字を再開する。

プリンタの設定が正しくない。

- "Power on Utility"「電源投入ユーティリティ」の指示に従い、プリンタを初期化する。

6.2 印字品質がよくない

ラベルがフィードされ続ける

- プリンタの設定が間違っている可能性がある。 **初期化**と**ギャップ／ブラックマークの補正**を行う。

ラベルに印字されない

- ラベルが正しく取り付けられているか？ 「**紙を取り付ける**」の指示に従う。

印字品質がよくない

- トップカバーが正しく閉められていない。 トップカバーを完全に閉じる。
- 熱転写ヘッドを清掃する。
- 印字濃度の設定を調整する。

7. LED とボタンの操作

7.1 LED

LED の色	内容
緑／点灯	電源が入っておりデバイスを使用できる状態にあるときに光る。
緑／点滅	システムが PC からメモリにデータをダウンロード中で、プリンタが停止しているときに光る。
黄色	システムがプリンタからデータをクリアしているときに光る。
赤／点灯	プリンタのヘッドが開いているとき、カッターのエラーで光る。
赤／点滅	紙切れ、紙詰まり、メモリエラーなどの印字エラーで光る。

7.2 ボタン操作

フィード	● LED が**緑**のときにボタンを押す。 ■ 次のラベルの始めまでラベルをフィードします。
一時停止	● 印字中にフィードボタンを押す。 ■ 印字ジョブが停止します。
ギャップ／ブラックマークセンサーの補正	1. プリンタの電源スイッチを切る。 2. ボタンを押して、プリンタの電源スイッチを入れる。 3. LED が**赤**く点滅したら、ボタンから手を放す。（赤く 5 回点滅する間に行う）。 ■ It will calibrate the gap/black mark sensor sensitivity. ■ LED の色は、次の順番で変わります。 黄色 → **赤（5 回点滅）**→ 黄色（5 回点滅）→ 緑（5 回点滅）→ 緑/黄色（5 回点滅）→ 赤/黄色（5 回点滅）→ 緑に点灯 ■ センサが補正され、ラベルの長さが測定されます。 **注：** **センサを補正する前に、GAP または BLINE コマンドでギャップセンサーまたはブラックマークセンサを選んでください。** **GAP 及び BLINE コマンドの詳細については、TSPL2 プログラミング・マニュアルを参照してください。**

ギャップ／ブラックマークセンサーの補正、ラベル長さの測定、自己診断、ダンプモード	1. プリンタの電源スイッチを切る。 2. ボタンを押して、プリンタの電源スイッチを入れる。 3. LED が**黄色**く点滅したら、ボタンから手を放す。（黄色く5回点滅する間に行う）。 ■ LED の色は、次の順番で変わります。 黄色 → 赤（5回点滅）→ **黄色（5回点滅）**→ 緑（5回点滅）→ 緑/黄色（5回点滅）→ 赤/黄色（5回点滅）→ 緑に点灯 ■ センサが補正され、ラベルの長さが測定され、内部設定を印刷し、ダンプモードに入ります。 **注：** **センサを補正する前に、GAP または BLINE コマンドでギャップセンサーまたはブラックマークセンサを選んでください。** **GAP 及び BLINE コマンドの詳細については、TSPL2 プログラミング・マニュアルを参照してください。**
プリンタの初期化	1. プリンタの電源スイッチを切る。 2. ボタンを押して、プリンタの電源スイッチを入れる。 3. LED が黄色く5回点滅した後、**緑**に変わったら、ボタンから手を放す。（緑に5回点滅する間に行う）。 ■ LED の色は、次の順番で変わります。 黄色 → 赤（5回点滅）→ 黄色（5回点滅）→ **緑（5回点滅）**→ 緑/黄色（5回点滅）→ 赤/黄色（5回点滅）→ 緑に点灯 ● プリンタの初期化後には、必ず**ギャップ／ブラックマークセンサーの補正**を行ってください。
ブラックマークセンサーの補正	1. プリンタの電源スイッチを切る。 2. ボタンを押して、プリンタの電源スイッチを入れる。 3. LED が緑に5回点滅した後、**緑/黄色**に変わったら、ボタンから手を放す。（緑/黄色に5回点滅する間に行う）。 ■ LED の色は、次の順番で変わります。 黄色 → 赤（5回点滅）→ 黄色（5回点滅）→ 緑（5回点滅）→ **緑/黄色（5回点滅）**→ 赤/黄色（5回点滅）→ 緑に点灯

ギャップセンサーの補正	1. プリンタの電源スイッチを切る。 2. ボタンを押して、プリンタの電源スイッチを入れる。 3. LED が緑/黄色に 5 回点滅した後、**赤/黄色**に変わったら、ボタンから手を放す。（赤/黄色に 5 回点滅する間に行う）。 ■ LED の色は、次の順番で変わります。 黄色 → 赤（5 回点滅）→ 黄色（5 回点滅）→ 緑（5 回点滅）→ 緑/黄色（5 回点滅）→ **赤/黄色（5 回点滅）**→ 緑に点灯
AUTO.BAS 省略	1. プリンタの電源を切る。 2. FEED ボタンを押してから、電源を入れる。 3. LED が**緑に点灯**したときに FEED ボタンから手を放す。 ■ LED の色は、次の順番で変わります。 黄色 → 赤（5 回点滅）→ 黄色（5 回点滅）→ 緑（5 回点滅）→ 緑/黄色（5 回点滅）→ 赤/黄色（5 回点滅）→ **緑に点灯** 4. プリンタで AUTO.BAS プログラムの実行が阻止される。



TSC Auto ID Technology Co., Ltd.

Corporate Headquarters
9F., No.95, Minquan Rd., Xindian Dist.,
New Taipei City 23141, Taiwan (R.O.C.)
TEL: +886-2-2218-6789
FAX: +886-2-2218-5678
Web site: www.tscprinters.com
E-mail: printer_sales@tscprinters.com
tech_support@tscprinters.com

Li Ze Plant
No.35, Sec. 2, Ligong 1st Rd., Wujie Township,
Yilan County 26841, Taiwan (R.O.C.)
TEL: +886-3-990-6677
FAX: +886-3-990-5577